VRMocopi



VRSionUp!11「mocopiで遊ぼう♪」

<u>https://www.youtube.com/watch?v=nPg5mXDtgWk</u> で解説した動画をステップバイステップで解説する資料です。 <u>https://github.com/kaitas/VRMocopi</u>

公式はこちら

https://www.sony.net/Products/mocopi-dev/jp/documents/ ReceiverPlugin/Unity/UseSampleApp.html

ワークショップ SONY mocopi で VRM を動かそう



使用するもの

·Unity 2021.3.16f1

mocopi receiver plugin for unity

https://www.sony.net/Products/mocopi-dev/jp/downloads/DownloadInfo.html 1.0.2 (2023/2/8)

- ·mocopi-receiver-plugin-for-unity_1.0.0beta
- ·UniVRM 0.108.0 ※VRM1.0でもVRM0.xでも大丈夫
- ・お好みのVRMモデル
 - ※お持ちでなければRAYNOSちゃんを使うのが良さそう















用意するもの Prerequisites

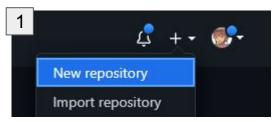
★番組放送時からの更新があります

- Unity 2021.3.16f1
- mocopi receiver plugin for unity v1.0.2 (2023/2/8)
- UniVRM v0.108.0 VRM 0.x Import/Export
- RAYNOS-chan-avatar_v1.0.2.zip v1.0.2 (2023/2/8)
- GitHubのアカウントと GitHub Desktop

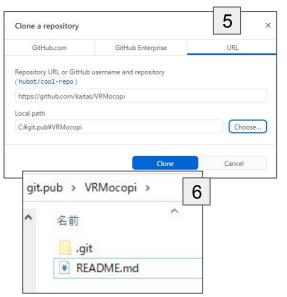
mocopiの初期設定

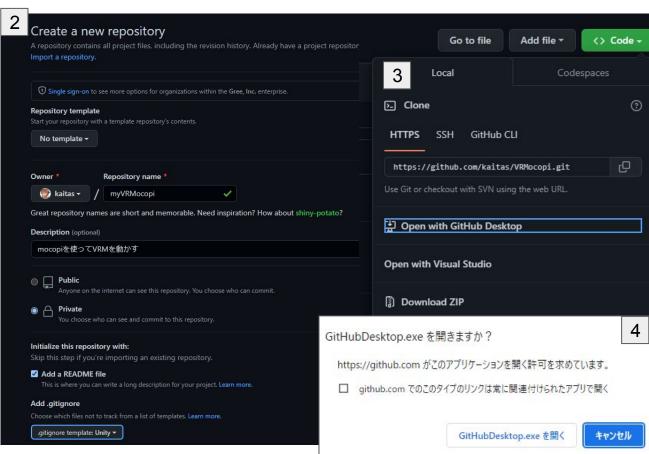
- 1. 充電しておく
- 2. スマホアプリをインストール
- 3. アプリに従って装着
- 4. キャリブレーションしてRAYNOSちゃんアバターが正しく動けばOK
- 5. スマホのIPアドレスを確認しておく(PCと同じネットワークに居ること)
- 6. このあとはしばらく使わないので装着している必要はない(充電)

GitHubに行き、新規リポジトリを作りクローン

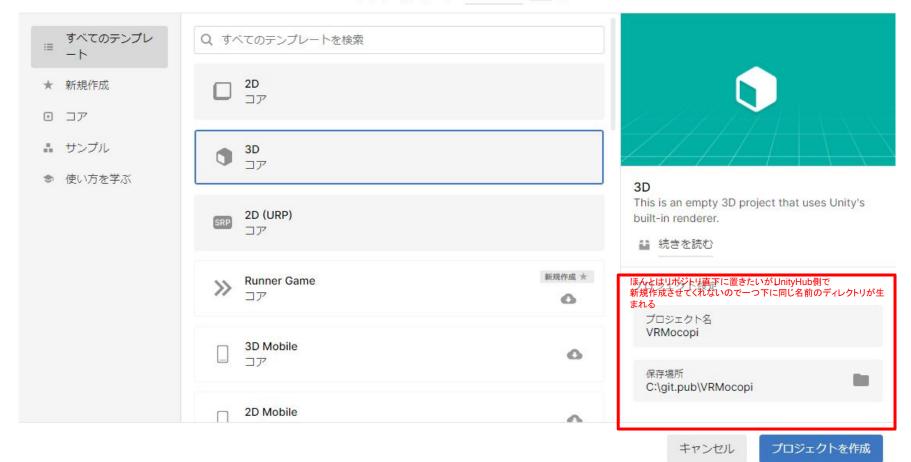


名前がぶつかるときは適当に回避してください

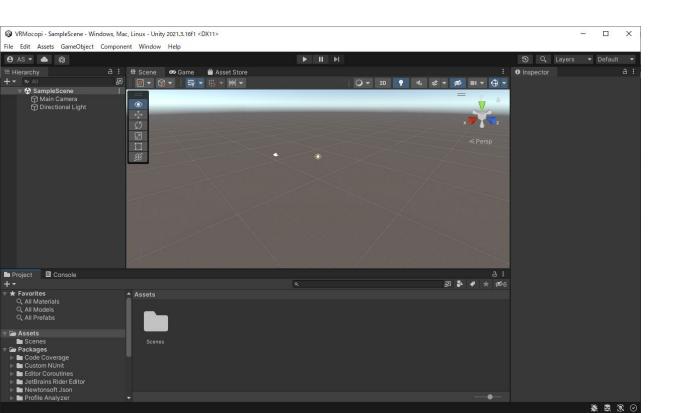




いったん新規Unityプロジェクトの作成



Unity起動(初期状態)



いったんUnityを閉じてエクスプローラーで表示



VRMocopi/VRMocopi内にある

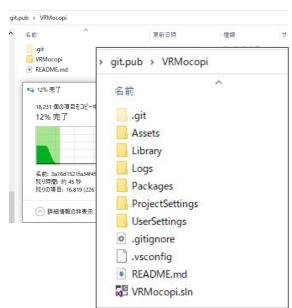
Assets, Library, Logs, Packages, ProjectSettings, UserSettings, vsconfig, VRMocopi.sInがUnity標準セット

→ これらを一つ上のディレクトリに移動

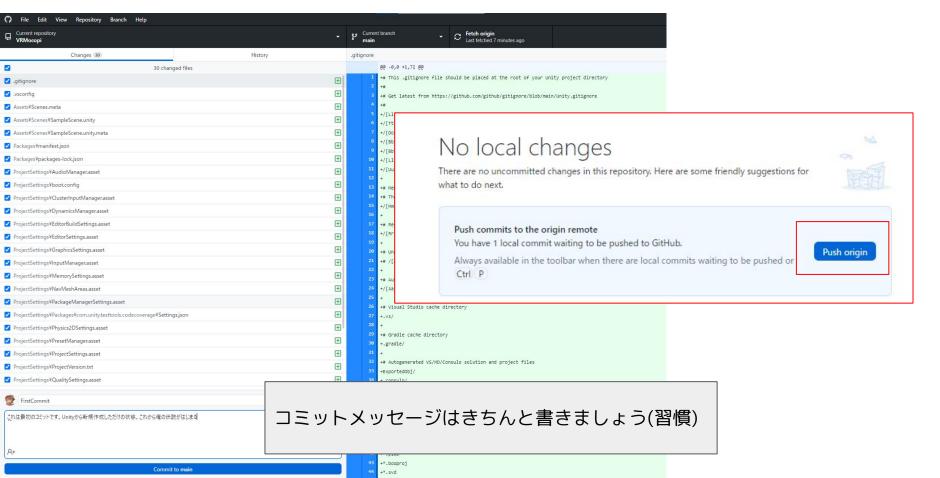
(VRMocopi/VRMocopiフォルダも不要なので削除)

右図のような構成になったら GitHubにPushします。

- .gitignore を最新のものにしておくといいです https://github.com/github/gitignore/blob/main/Unity.gitignore

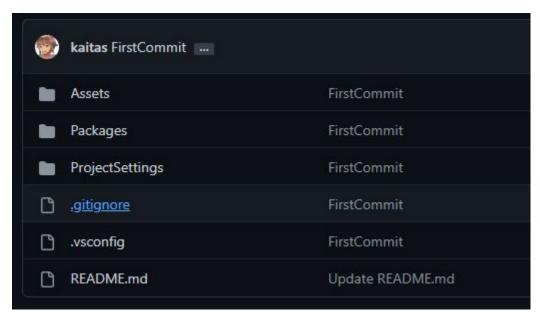


FirstCommit & Push Origin



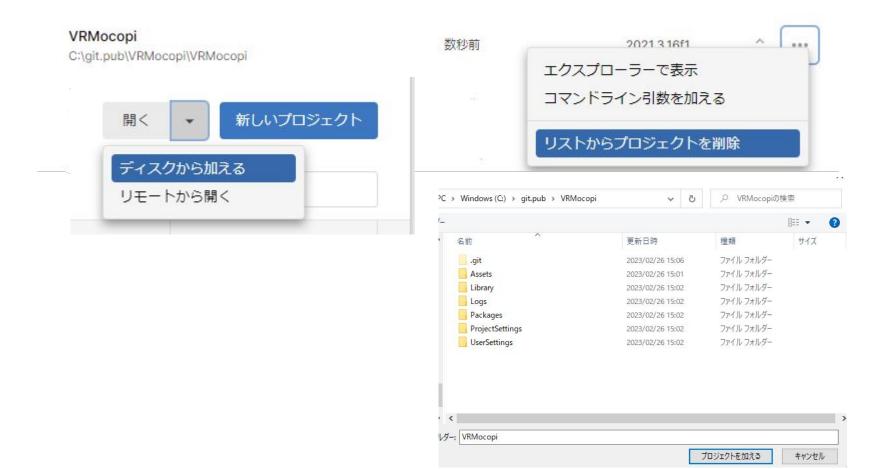
GitHub上に上がっているのを確認

https://github.com/kaitas/VRMocopi



.gitignoreしているのでLogsやLibraryは共有されていません (他にも不要なものはどんどん ignoreしておこう)

UnityHubにて新しいPathでプロジェクトを再追加→起動



Assets→Import Package→Custom Package

ダウンロードしてきた

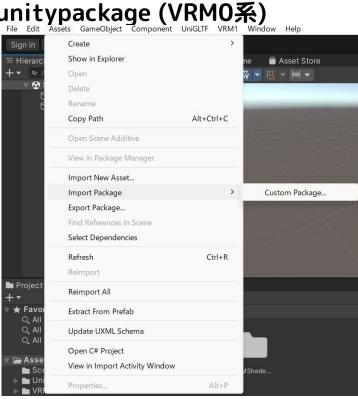
UniVRM-0.108.0_e16d.unitypackage (VRM0系)

を取り込む

[Import]

無事にとりこみ 終わったらGitHubで Commit (&Push)





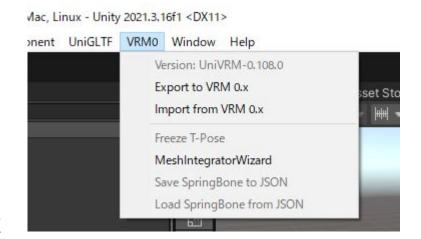


[小休止]UnityEditor上でVRM0メニューが表示される

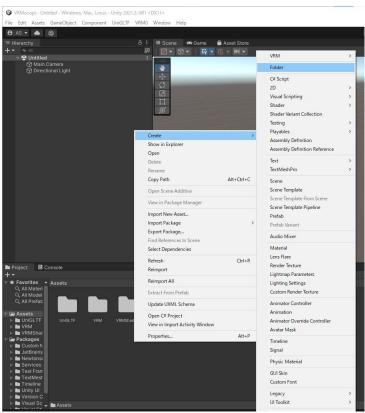
動画では<u>このへん</u>

※この動画ではVRMO系で解説しています。 VRM1だとImportに失敗するかも。

[Import from VRM 0.x]がメニューにあること

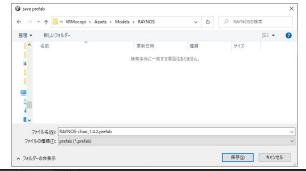


Create→Folder→[Models/RAYNOS]フォルダを作成



[VRM0]→[Import from VRM 0.x] ファイル選択でダウンロード&解凍した RAYNOS-chan_1.0.2.vrm

"save prefab"という保存ダイアログ→[保存]





PrefabをHierarchyにドロップしてワールドの中心へ

SampleScene.unity

ファイルの種類(I): unity (*.unity

▲ フォルダーの非表示

絵のついているアイコンを 左上のMain Cameraの下 空いてるところにドロップ。

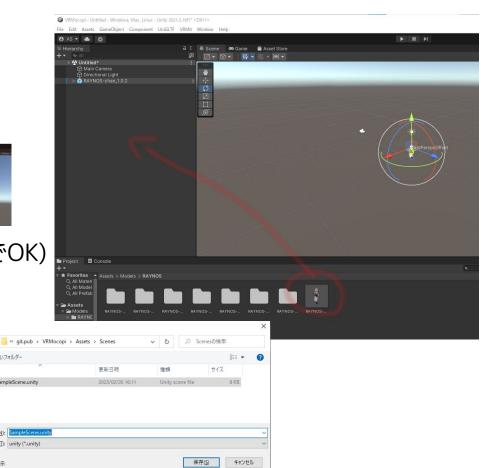
終わったら▶Playして エラーがなければ Ctrl+S でscene保存。



(Scenes/SampleScene.unity に上書きでOK)

Commit & Push しておこう

コミット名:"RAYNOS取り込み済"



[動画だとこのへん]



危ない作業をする前には必ずブランチを切ろう

(これからmocopi-pluginを追加するが、失敗すると面倒なので…)

Create a branch

Your new branch will be based on your currently checked out branch (main), main is the default branch for your repository.

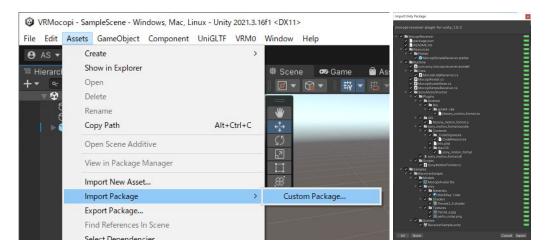
Create branch

Cancel

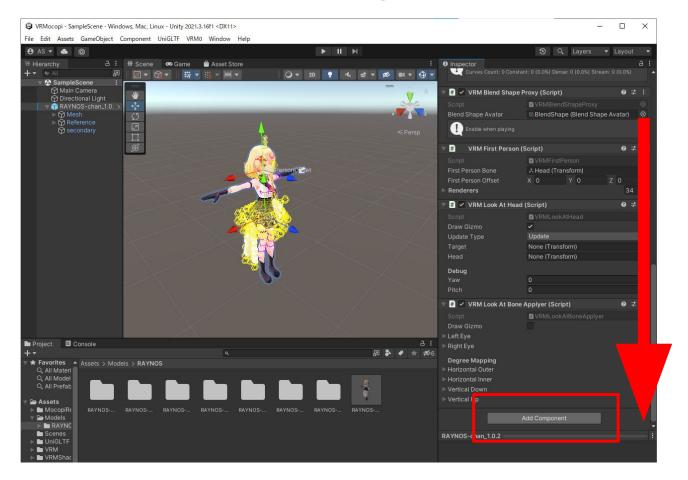
Name mocopi-plugin

GitHubアプリ上にて「Create a branch」 「mocopi-plugin」という名前でブランチを切る。

ダウンロードして解凍した mocopi-receiver-plugin-for-unity_1.0.2.unitypackage をダブルクリックするか [Import Package]する。



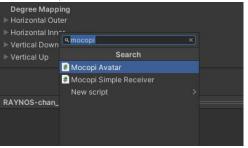
[Prefab]クリック[Inspector]→[Add Component]



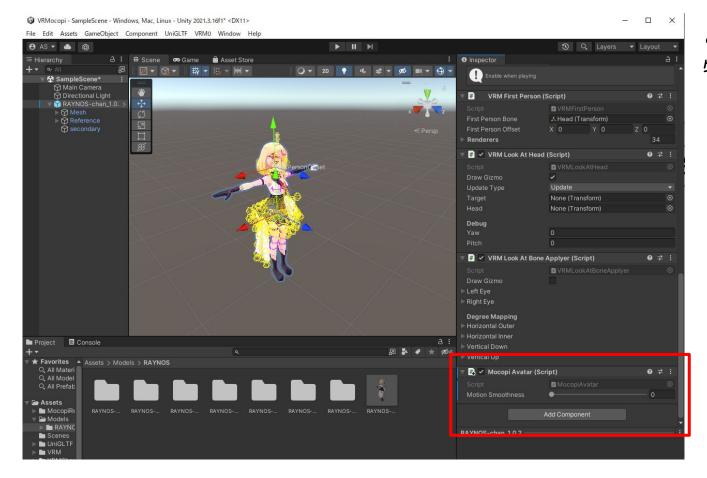
[Hierarchy]に加えた Prefab

RAYNOS-chanを クリックして 右に表示される [Inspector]タブ (いちばん下までスクロール)

[Add Component]に mocopiと打ちます



[Mocopi Avatar]コンポーネントを追加

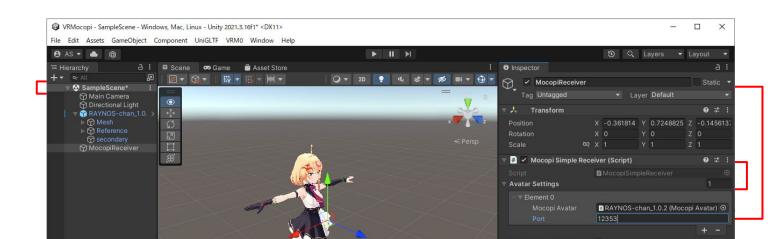


この時点では 特に設定項目はあ りません

[Mocopi Simple Receiver]の設定

[Hierarchy]の何もないところで右クリック。 Create Emptyでからのゲームオブジェクトを作成"MocopiReceiver"と命名 Add Componentから、今度は"Mocopi Simple Receiver"コンポーネントを追加。 [Avatar Settings] >[Element 0]に[+]で追加し、RAYNOSのPrefabを選択。 Portは 12353

動画はこの辺



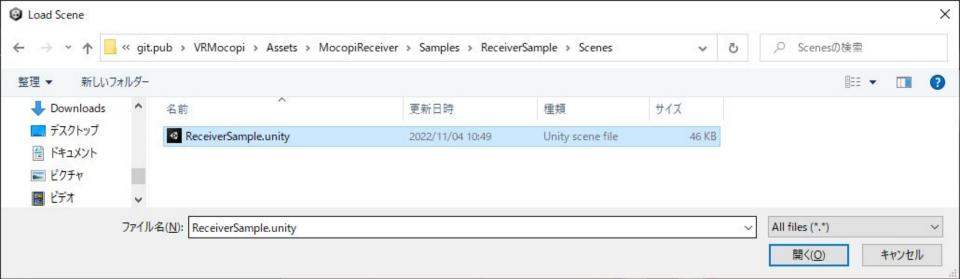
mocopi再起動&ネットワークの確認

[Windowsキー]→cmd→黒い画面で ipconfig と打ってIPv4アドレスを確認。 この環境では [192.168.10.115]

mocopiスマホアプリ右上の「…」から[設定]→[PC接続設定]で [IPアドレス]にUnityで使用しているPCのIPアドレス 送信ポート設定にはコンポーネント側で設定したポート番号[12351] 送信フォーマットは[mocopi(UDP)]を選択する。

動かないときは…公式情報を見てみよう

(ほとんどの場合はファイアウォールの設定が原因ですが) Unity開発に自信がない人は mocopiパッケージ取り込み後なら、サンプルシーンで確認してみよう



動かないときは…公式トラブルシューティングより

https://www.sony.net/Products/mocopi-dev/jp/documents/ReceiverPlugin/Unity/TroubleShoot.html

Windowsの「セキュリティが強化されたWindows Defenderファイアウォール」を開きます。

[受信の規則]をクリックし一覧を表示します。

[新しい規則…]をクリックします。

「新規の受信の規則ウィザード」ウィンドウが表示されます。

[ポート]を選び、[次へ]ボタンをクリックします。

[UDP] 、「すべてのローカル ポート」を選び、 [次へ] ボタンをクリックします。

[接続を許可する]を選び、 [次へ] ボタンをクリックします。

開発環境に当てはまるネットワークにチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックし

「名前」欄に任意の名称を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



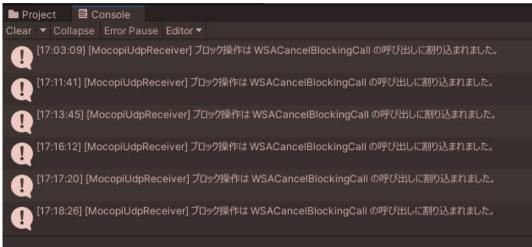


ネットワークカードが複数ある場合は無効にしておく

この図の場合はVirtualBoxのバーチャルLANカードが邪魔しているかも上手くいかないときは右クリックして[無効]にしておこう



WSACancelBlockingCall



Mocopi.Receiver.Core.MocopiUdpReceiver/<UdpTaskAsync>d__23:MoveNext () (at Assets/MocopiReceiver/Runtime/Core/MocopiUdpReceiver.cs:265)

Mocopi.Receiver.Core.MocopiUdpReceiver:<UdpStart>b_19_0 () (at Assets/MocopiReceiver/Runtime/Core/MocopiUdpReceiver.cs:172)

Mocopi.Receiver.Core.MocopiUdpReceiver:UdpTaskAsync (System.Threading.CancellationToken)

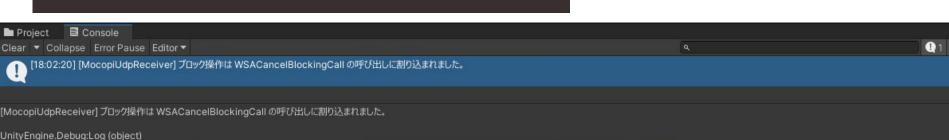
System.Threading._ThreadPoolWaitCallback:PerformWaitCallback ()

UnityEditor(C

「WSACancelBlockingCallの呼び出しに割り込まれました」

と表示されているときは、ファイアウォールの 設定が原因。

UnityEditorだけ解除するのは意外と大変なので、一旦Build&Runがオススメ。



System.Runtime.CompilerServices.AsyncVoidMethodBuilder:Start<Mocopi.Receiver.Core.MocopiUdpReceiver/<UdpTaskAsync>d_23> (Mocopi.Receiver.Core.MocopiUdpReceiver/<UdpTaskAsync>d_23&)

Build&Runによる解決

UnityEditorからの起動ではなく、単体のEXEファイルとして生成して起動。

ファイアウォールの設定画面が現れるので通信を許可してあげる。

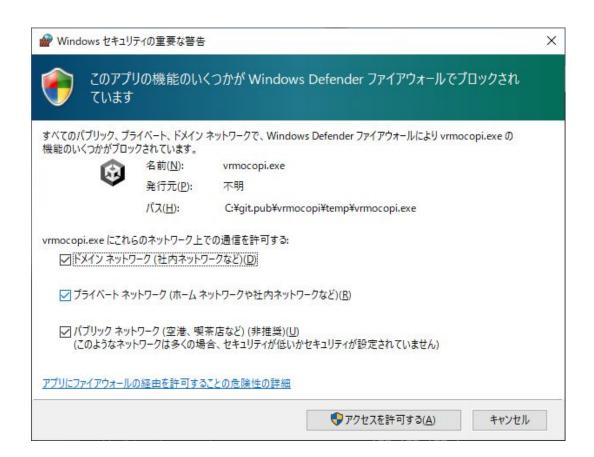
※そもそもIPアドレスが正しくて、ポートが合っている?

[最終手段] Windows Defender を全てOFFにする

{プライベートネットワーク、ドメインネットワーク、パブリック }のどれか

複数あるPCのネットワークカードの 1番目が
Unityで受信用に開かれていない →他を無効にする

このダイアログが出ればほぼ勝利!!



それでも動かないときは… WireSharkを使ってLAN内を探索

